

長野県スポーツ推進計画の進捗状況の評価検証について

長野県スポーツ推進計画の進捗状況の評価検証について

1 評価の対象

スポーツ推進計画に掲げた基本目標

2 評価の時期

原則として、前年度末までの実績を踏まえ評価する。

3 評価の観点

基本目標ごとに達成目標に係る指標の実績値の推移、基本目標を構成する主な事業の成果などを踏まえて、基本目標の達成状況を明らかにするとともに、施策のねらいと達成に向けた課題や今後の取組方針を示す。

4 基本目標等評価の実施方法

- ① スポーツ課は、別添の「基本目標評価調書」の原案を作成の上、スポーツ推進審議会に提出し、自己評価に対する意見を求める。

なお、意見徴取に当たっては、進捗状況の判断材料となる目安値を定めることとし、この目安値に対する判断基準を3段階（「順調」、「概ね順調」、「努力を要する」）に分けて自己評価する中で、意見を求める。

県の自己評価の妥当性について検証をいただき、次のとおり「妥当」「概ね妥当」「妥当でない」の区分で評定をお願いする。

- 妥当 : 県の自己評価が妥当である場合は「妥当」とする。
- 概ね妥当 : 県の自己評価に大きな問題はないが、分析が足りない点がある場合などは「概ね妥当」とし、評価上の留意事項や施策推進のための意見を記載する。
- 妥当でない : 県の自己評価に異議がある場合は、理由を付した上で「妥当でない」とし、審議会の認識を記載する。

- ② スポーツ課は、基本目標評価調書原案及びこれに対するスポーツ推進審議会の意見並びに当該意見に対するスポーツ課の対応方針を内容とする評価書を作成する。

- ③ 評価書の決定後は、速やかに、スポーツ課ホームページ等において公表し、広く県民等からの意見を求め、今後の施策に反映させるよう努めるものとする。

【進捗区分の判定基準】

- 順調 : 実績値が目安値以上
- 概ね順調 : 進捗率が 80%以上 100%未満
- 努力を要する : 進捗率が 80%未満
- 実績値なし : 実績値が把握できない場合

※進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目安値 - 基準値)

基本目標評価調書【案】

基本目標	
------	--

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	
施策の展開	

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H22年度)	H25年度		H26年度		27	28	目標値 (H29年度)	評価
				目安値	実績値	実績値	実績値				

(2) 取組の主な成果の状況(26年度実績)

--

2 課題と今後の取組方針

--

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

基本目標評価調書【案】

基本目標	1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
------	--------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	長野県版運動プログラムが、幼稚園・保育所、学校、地域のクラブ等に普及して、運動やスポーツをする元気な子どもが増加しています
施策の展開	1 幼児期からの子どもの体力向上方策の推進 2 学校の体育に関する活動の充実 3 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H22年度)	H25年度		H26年度		27	28	目標値 (H29年度)	評価
				目安値	実績値	目安値	実績値				
	体力合計点	点	49.1	49.6	49.3	49.9	49.4	50.2	50.6	51点台	努力を要する
	体力合計点の全国順位	位	31	29	29	27	27	25	22	10位台	順調

(2) 取組の主な成果の状況(26年度実績)

<p>○長野県版運動プログラム普及事業である「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」は、幼稚園・保育園の園児や保育士、小学校の児童や教職員、地域の指導者、保護者を対象に計5回開催した。幼稚園・保育園、学校、家庭、地域など、生活の中に運動やスポーツを取り入れ習慣化していくきっかけとなっている。</p> <p>○長野県版運動プログラム普及事業の一環として、「幼児期からの運動遊び」DVDを作成した。これにより幼児期から学童期、中学生期までの一貫した運動プログラムを開発できた。</p> <p>○「体づくり運動」実技講習会は、小学校児童を対象に走り方を中心とした内容を12校で、中学校生徒を対象にコアトレーニングを中心とした内容を17校で開催した。各校で作成する「体力向上プラン」の1校1運動等、体力向上に向けた取組を充実させた。</p> <p>○「子どもの体力向上指導者研修(学校体育指導者中央研修)」に県内小中高等学校から8名参加した。研修内容を郡市代表の教員に対して伝達するとともに、各郡市においては、伝達を受けた教員により指導力向上の研修会を開催し、日々の授業に活かせる内容を伝達できた。</p> <p>○小中高等学校体育・スポーツ研究協議会を6会場で開催し、625名の体育主任が参加した。体力向上にかかわっての講演、各校が作成した「体力向上プラン2014」をもとにしたグループ協議等を実施し、体力向上へ向けた取組について情報交換し、共有することができた。</p> <p>○長野県障がい者福祉センター(サンアップル)において、障がいのある子を対象としたスポーツ体験教室等のイベントを実施した。障がいのある子がスポーツに親しむ機会の提供を行った。(健康福祉部)</p>

2 課題と今後の取組方針

<p>【課題】</p> <p>○体力合計点及び順位は徐々にではあるが上がってきている。しかし、中学女子の値は低く、全国との差が大きい。</p> <p>○体育の授業を除いた1週間の総運動実施時間0分の中学校女子の割合は、18.6%と高い。また、運動が「きらい」・「ややきらい」を合わせると22.4%と高い。また、運動がきらいになった理由は、最も多いのが、「小学校入学前から苦手だった」で、次に、「体育の授業でうまくできなかった」であった。</p> <p>○女子の運動部活動入部率が低くなっていることも中学女子の体力が低いことに影響していると思われる。</p> <p>【今後の取組方針】</p> <p>○キッズ運動遊びどこでもゼミナールや小学校・中学校の「体づくり運動」実技講習会の開催を希望する市町村で、多くの参加者を募るとともに、より充実した内容としていく。</p> <p>○一校一運動の内容を各校児童生徒の実態に応じて工夫し、より充実した取組になるよう指導する。運動好きな児童生徒が育つよう授業改善を一層進めていく。</p> <p>○中学生女子の運動部活動加入率向上に向けた環境づくりを進める。</p>
--

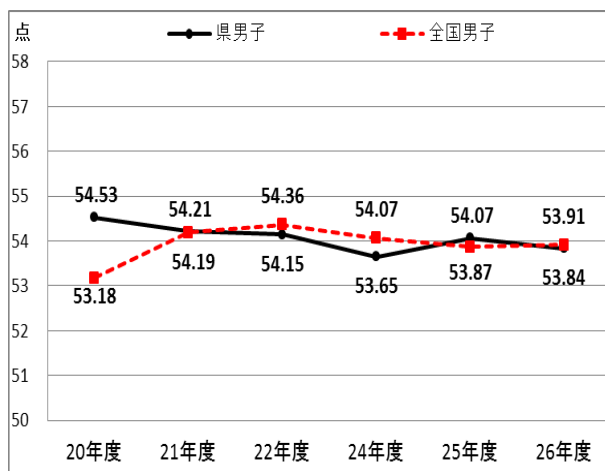
3 スポーツ推進審議会の評定・意見

<p>【評定】県の評価は である。</p>

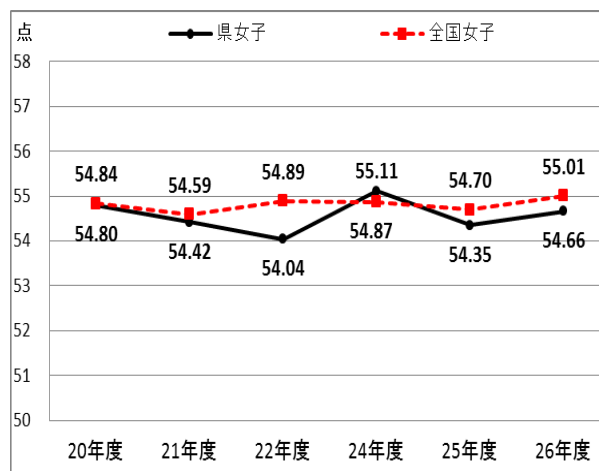
全国体力・運動能力、運動習慣等調査「体力合計点」の推移（平成20～26年度）

		20年度	21年度	22年度	24年度		25年度		26年度		全国との差
		(悉皆)	(悉皆)	(抽出)	(抽出)	順位	(悉皆)	順位	(悉皆)	順位	
小5 男子	本県	54.53	54.21	54.15	53.65	29位	54.07	19位	53.84	22位	-0.07
	全国	53.18	54.19	54.36	54.07	位	53.87	位	53.91	位	
小5 女子	本県	54.80	54.42	54.04	55.11	23位	54.35	30位	54.66	30位	-0.35
	全国	54.84	54.59	54.89	54.87	位	54.70	位	55.01	位	
中2 男子	本県	41.69	41.04	41.68	42.18	22位	41.87	24位	42.11	20位	0.48
	全国	41.50	41.36	41.71	42.11	位	41.78	位	41.63	位	
中2 女子	本県	47.14	46.28	46.34	46.23	44位	47.01	39位	47.38	41位	-1.17
	全国	48.38	47.94	48.14	48.62	位	48.42	位	48.55	位	
総合 (平均)	本県	49.54	48.98	49.05	49.29	31位	49.32	29位	49.49	27位	-0.28
	全国	49.47	49.52	49.77	49.91	位	49.69	位	49.77	位	
総合の差引		+0.07	-0.54	-0.72	-0.62		-0.37		-0.28		

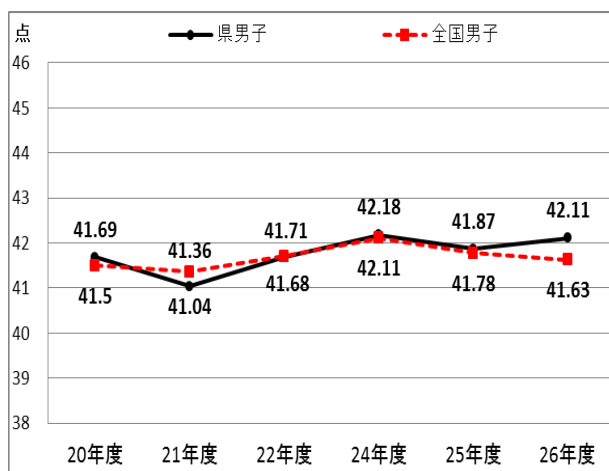
【グラフ1】 小学校男子体力合計点の推移



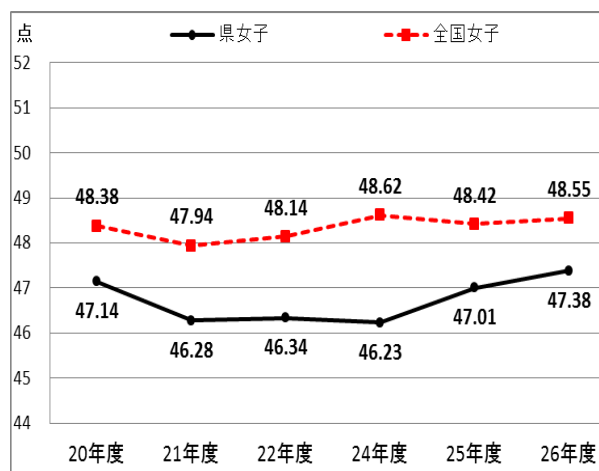
【グラフ2】 小学校女子体力合計点の推移



【グラフ3】 中学校男子体力合計点の推移



【グラフ4】 中学校女子体力合計点の推移



基本目標評価調書【案】

基本目標	2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
------	------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	県民誰もが、年齢、体力、技術、適正、興味・目的に応じて安全にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みが進んでいます
施策の展開	1 ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進 2 スポーツにおける安全の確保

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

	指標名	単位	基準値	H25年度		H26年度		27	28	目標値 (H29年度)	評価
				目安値	実績値	目安値	実績値				
進 捗 状 況	運動・スポーツ実施率 週1回以上実施	%	48.3 (H24実績)	51.6	51.6	54.9	47.4	58.2	61.6	65.0	努力を要する
	週3回以上実施	%	27.9	28.3	29.0	28.7	26.3	29.1	29.5	30.0	努力を要する
	1年に一度もしない	%	10.3	8.2	11.8	6.1	11.6	4.0	1.9	0に近づける	努力を要する
	障がい者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数	人	14,731 (H23実績)	15,325	17,498	16,194	15,629	16,694	17,209	17,700	努力を要する

(2) 取組の主な成果の状況(26年度実績)

<p>○県主催スポーツイベント・信州チャレンジスポーツDAY2014及び地域版の実施により、県民のスポーツ参加意識の向上を図った。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの育成、安定運営の支援のため、連絡協議会やクラブへの指導者派遣、アシスタントマネージャー講習会等を実施した。</p> <p>○県体育センターにおいて、幼児や高齢者の運動プログラムやスポーツ推進委員のための研修講座等を実施し、スポーツ指導者の育成を図った。</p> <p>○ホームページ「障がい者スポーツナビ」を通じて積極的に広報を行った結果、地区及び県障がい者スポーツ大会、車いすマラソン大会、障がい者スキー大会等、各種スポーツ大会には3,388人の参加があった。</p> <p>○長野県障がい者福祉センター(サンアップル)における、各種障がい者スポーツ教室、イベントには12,114人が、また、NPO法人長野県障がい者スポーツ協会における、障がいのある子を対象にしたプロスポーツ選手との体験教室やダンス教室等には127人がそれぞれ参加した。(健康福祉部)</p> <p>○ホームページ等の広報媒体を通じ、各種スポーツ大会や団体等の情報発信を行った。</p>

2 課題と今後の取組方針

<p>【課題】</p> <p>○運動・スポーツ実施率については、豪雪、土石流、噴火、地震など、県内各地で自然災害が相次いで発生したため、県民のスポーツに対する機会の減少や気運の低下が、マイナスの方向へ作用したものと考えられる。</p> <p>○生涯スポーツ社会の実現に向け、幅広い年齢層のさまざまな方々が参加し、参加者相互の交流により、スポーツに親しむきっかけとするための県主催イベント「信州チャレンジスポーツDAY」は、メイン競技場トラック改修工事が入り、参加者数が予定を下回った(4,525名)。</p> <p>【今後の取組方針】</p> <p>○県経営者協会、県レクリエーション協会との連携により「職場におけるレクリエーション」の普及＝「業間体操の実施」「スポーツのためのノー残業DAY」などの推奨や、健康づくりのために「徒歩通勤」「階段の使用」の推奨など、運動・スポーツの実施に関係する部局との連携を強化しながら、特に実施率の低い「働き盛り世代」に対して啓発、奨励していく。</p> <p>○県主催イベント「信州チャレンジスポーツDAY」において、①体験型種目を拡大、②障がい者が行うスポーツの体験と観戦を通して、障がいの有無を超え、ともに楽しめるスポーツ活動の推進を目指す、③県民総ぐるみで取組を展開する「信州ACEプロジェクト」の「C」Checkを導入の3点を意識した種目を設定していく。</p> <p>○障がい者の自発的なスポーツ活動を促すとともに、障がい者スポーツに対する県民の理解を促進するため、積極的に障がい者スポーツを広報する。NPO法人長野県障がい者スポーツ協会等と連携し、体験教室等を実施する。(健康福祉部)</p>

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

<p>【評定】県の評価は である。</p>

運動・スポーツの実施状況（平成26年度県政モニター調査）

1 調査の概要

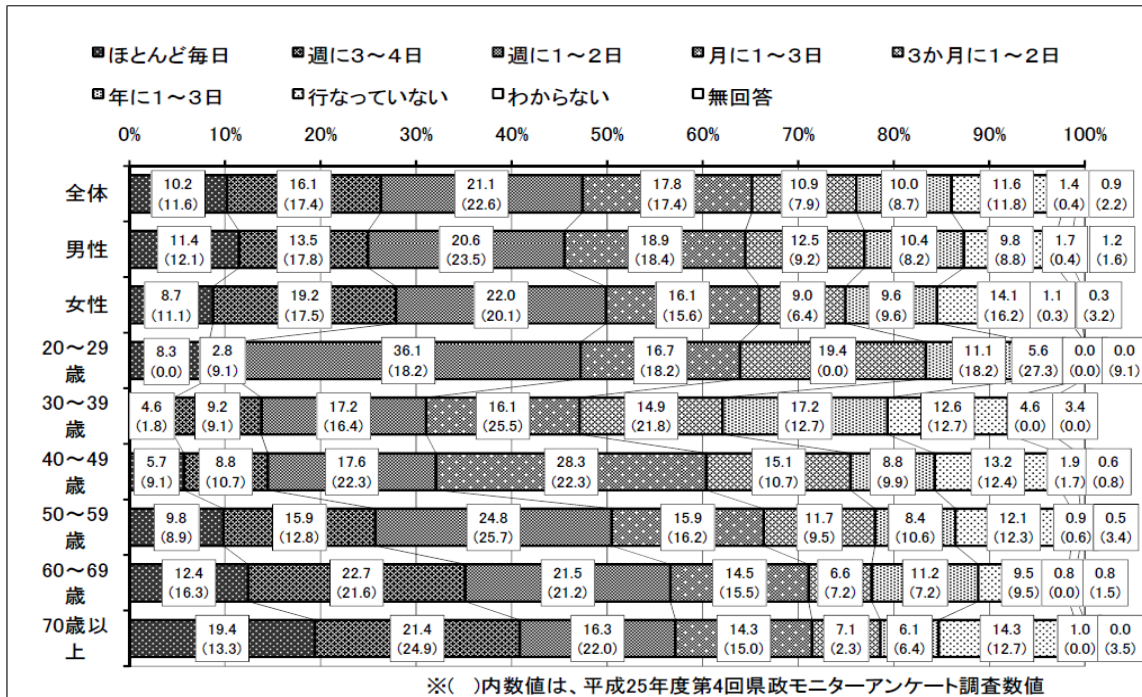
- ①調査時期 平成27年(2015年)1月30日(金)～2月12日(木)
- ②調査対象 県政モニター1,206人を対象に実施し、844人(70.0%)から回答を得た。

2 結果

問い) あなたは過去1年間に運動・スポーツを何日ぐらい行ないましたか。

	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度 n= 869	
			回答数(人)	割合(%)
n= 844				
ほとんど毎日	86	10.2%	95	11.6
週に3～4日	136	16.1%	143	17.4
週に1～2日	178	21.1%	185	22.6
月に1～3日	150	17.8%	143	17.4
3か月に1～2日	92	10.9%	65	7.9
年に1～3日	84	10.0%	71	8.7
行なっていない	98	11.6%	97	11.8
わからない	12	1.4%	3	0.4
無回答	8	0.9%	18	2.2

○週1回以上運動・スポーツを行っている人は男性より女性が多い。世代別では70歳以上が57.1%と最も多く、最も少ない30歳代の31.0%を大幅に上回った。



基本目標評価調書【案】

基本目標	3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
------	---------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	総合型地域スポーツクラブ、郡市体育協会、スポーツ少年団、公民館、その他スポーツクラブが、コミュニティの中心として、充実した活動を展開しています
施策の展開	1 コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進 2 地域のスポーツ指導者等の充実 3 地域スポーツ施設の充実 4 地域スポーツと企業・大学との連携

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H24年度)	H25年度		H26年度		27	28	目標値 (H29年度)	評価
				目安値	実績値	目安値	実績値				
	総合型地域スポーツクラブの加入者数	人	17,050	19,000	18,537	20,500	18,591	22,000	24,500	25,000	努力を要する

(2) 取組の主な成果の状況(26年度実績)

<p>○総合型地域スポーツクラブ育成、安定運営に向けた支援を実施したが、平成26年度のクラブ数は1増2減。会員数についても頭打ちの状況である。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの連絡協議会の実施により、クラブへ情報提供することができた。また、グループ毎の情報交換会等を通してクラブ同士の連携が強化された。</p> <p>○長野県スポーツ推進委員協議会の研修会を実施し、スポーツ推進委員の実技指導力や地域のスポーツ活動全般のコーディネーターとしての資質の向上を図った。</p> <p>○長野県障がい者スポーツ指導員養成研修事業を、NPO法人長野県障がい者スポーツ協会に委託して実施した(受講者数20人)。また、長野県障がい者福祉センター(サンアップル)において、指導者から関心のある方までを対象にした障がい者スポーツ研修会を開催した(受講者数120人)。(健康福祉部)</p> <p>○文部科学省及び日本スポーツ振興センターによる補助の制度について市町村に周知し、文部科学省から1件、日本スポーツ振興センターから11件、それぞれ補助を受け施設整備を行った。</p>

2 課題と今後の取組方針

<p>【課題】</p> <p>○総合型クラブについては、総クラブ数、総会員数ともに微増である。新設されたクラブがある反面、クラブの核となるマネージャーの世代交代ができず、活動の休止になったクラブがある。安定運営等が新たな課題である。</p> <p>【今後の取組方針】</p> <p>○総合型クラブについては、永続的な安定運営を意識した、クラブマネージャーを中心としたスタッフの育成について支援するとともに、連絡協議会を通じたクラブ間の情報交換をより一層充実させて、課題に対応していく。</p> <p>○安定運営に向け、クラブの認知度向上の支援をするとともに、事業の獲得に向け、指定管理者、事業委託等市町村へ働きかける。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの会員の増加が鈍化している現状を踏まえ、多様化するライフスタイルやニーズに対応できる小さなスポーツ活動拠点を地域の特性に合わせて数多く設置することにより、スポーツ無関心層がスポーツを始めるきっかけを増やすことを考えていく。</p> <p>○スポーツ推進委員の資質の向上を図るため、地域スポーツのコーディネーターとしての具体的な役割が理解できる研修会を実施する。</p> <p>○NPO法人長野県障がい者スポーツ協会等と連携し、障がい者スポーツ指導員養成研修事業を実施する。また、スポーツ推進委員に対し、障がい者スポーツに関する理解を深めてもらう取組を進める。(健康福祉部)</p> <p>○文部科学省・日本スポーツ振興センターの補助制度を利用して市町村が施設整備できるよう、引続き積極的に広報を行う。</p>
--

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

1 総合型地域スポーツクラブの状況

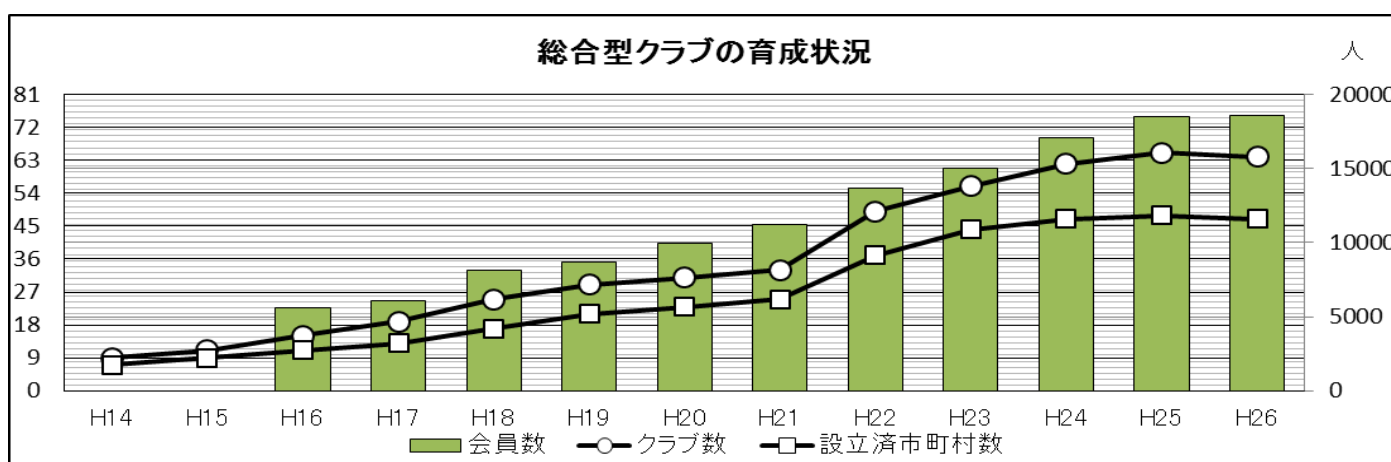
(1) 本県の設立状況 (H26.7.1現在)

市町村数			クラブ数		育成率※
設立済	未設置	うち準備中	設立済	準備中	
47	30	4	64	11	66.2%

※育成率 = 47+4(設置済及び準備中市町村数)/77(県内市町村数)

(2) 総合型地域スポーツクラブ状況(会員数はH26.7.1現在) (スポーツ課調べ)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
クラブ数	9	11	15	19	25	29	31	33	49	56	62	65	64
設立済市町村数	7	9	11	13	17	21	23	25	37	44	47	48	47
会員数			5,627	6,103	8,154	8,663	9,990	11,217	13,636	15,014	17,050	18,537	18,591



2 平成26年度長野県スポーツ推進委員研究協議会

(1) 研究協議テーマ 『スポーツの力で長野県を健康長寿県に』

(2) 趣旨

県内スポーツ推進委員の参集を得て、市町村におけるスポーツの推進に関する諸問題について協議し広く認知されるよう、スポーツ推進委員の資質向上を図る。

(3) 開催日・会場 平成26年11月16日(日) レザンホール(塩尻市文化会館)大ホール

(4) 内容

(1) 表彰式 長野県スポーツ推進委員協議会 功労者・団体表彰等

(2) 基調講演 テーマ『運動・スポーツの力で『健康長寿県』長野へ』 講師 長野県副知事 加藤さゆり 氏

(3) パネルディスカッション テーマ『スポーツによる健康長寿への取り組み』

(4) 分科会 第1分科会【講義】 テーマ「スポーツにおける口腔外傷の応急処置と予防方法」
講師 鷹股 哲也 氏(松本歯科大学病院スポーツ歯科教授)

第2分科会【実技】 テーマ「ウェーブストレッチ」講師 寺平 美樹 氏

第3分科会【実技】 テーマ「塩尻流ミニバレー」

第4分科会【実技】 テーマ「ワイン工場を巡るウォーキング」

(5) 参加者 421名

3 文部科学省及び日本スポーツ振興センターからの補助実績

○文部科学省 1件(社会体育施設耐震化:1件)

○日本スポーツ振興センター 11件(施設大規模改修:5件、グラウンド芝生化:4件、大型スポーツ用品設置:2件)

基本目標評価調書【案】

基本目標	4 競技力の向上に向けた選手強化、指導者養成の推進
------	---------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	オリンピック・パラリンピックなど、国際舞台や国内大会で活躍する本県選手が増加しています
施策の展開	1 選手の育成強化、指導者養成による競技力向上 2 ジュニア選手特別強化の取組み 3 本県での開催が予定される全国大会に向けた選手強化

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

	指標名	単位	基準値	H25年度		H26年度		27	28	目標値 (H29年度)	評価
				目安値	実績値	目安値	実績値				
進捗状況	国民体育大会 男女総合(天皇杯)順位	位	17 (H24:67回)	17	17	17	20	16	16	15 (H29:72回)	努力を要する
	国民体育大会 冬季大会順位	位	2	1	2	1	2	1	1	1	努力を要する
	国民体育大会 本大会順位	位	38	20位台	42	20位台	41	20位台	20位台	20位台	努力を要する
	国民体育大会(少年)・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の入賞者数	人・団体	178	182	196	186	191	190	195	200	順調
	平昌冬季オリンピック(H30.2)でSWANからメダリスト輩出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1人以上

(2) 取組の主な成果の状況(26年度実績)

○新規事業である「オリンピック育成支援事業」は、東京オリンピックに県出身選手が出場できるよう9競技団体14選手を指定し、海外合宿や世界トップレベル選手との合宿等、期待できる選手の集中強化を図った。指定選手の内、障害馬術の佐藤泰選手が仁川アジア競技大会で団体2位やカヌー・スラロームの矢澤亜季選手が同大会で3位入賞など期待が膨らんでいる。

○ジュニア競技力向上を目的として、重点強化校・クラブを9校・13クラブ指定し選手育成を支援した結果、全国中学校体育大会で62種目、全国高等学校体育大会でも73種目の入賞を果たした。

○SWANでは、H26年度に6期生として新たに15名を選考する一方、年度末には16名が修了し、現在72名を育成中。全国中学校体育大会にメンバーから28人が出場し、同大会を含む全国規模の大会において優勝1名をはじめ9名が入賞した。また、修了生の中にもスキー国体及びインターハイ3位やスキー国体のイベント競技モーグルで優勝、準優勝するなど一定の成果がでている。

○「第14回全国障害者スポーツ大会(長崎がんばらんば大会)」に長野県選手団として83人(選手49人、役員34人)を派遣した。(健康福祉部)

○東京パラリンピック等国際大会で活躍が期待できる有望選手を支援するパラリンピック育成支援事業を実施。4団体8名に対し、大会派遣費用等を支援した。(健康福祉部)

2 課題と今後の取組方針

【課題】
○国体での獲得得点は、前年より5.5点の減であった。入賞あるいは3位表彰台まで紙一重の競技があり、大きく競技力が低下したわけではない。ジュニア入賞者は、中学生・高校生ともにスケート・スキー競技での活躍により目標を上回っているが、本国体における、少年種別の獲得得点は47位(最下位)であり、少年の競技力の低下は、その先の成年の不振にもつながり、国際大会で活躍する選手が育ちにくくなる懸念がある。
○中学卒業までを対象とするSWANプロジェクト(Bコース)修了後の強化支援の方策。

【今後の取組方針】
○東京オリンピックに出場できる可能性のある有望選手・競技団体に対して支援を行う、「オリンピック育成支援事業」を実施する。指定選手の活躍により本県の夏季競技における競技力向上及び底辺の拡大を図る。また、パラリンピック等国際大会で活躍できる選手についても、発掘・支援を行う。(一部健康福祉部)
○各競技団体において、中期(H30)・長期(H39)強化計画、事業を立案し、ジュニア(中学生以下も含む)の育成及び指導者の育成を図る。
○SWANプロジェクト修了生に対して(特に国体種目にはないスキー(フリースタイル)、カーリング等)の支援について検討を行う。

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

1 第69回国民体育大会における総合成績

(1) 大会概要

	開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績			
				男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)	
				獲得点	順位	獲得点	順位
スケート・アイスホッケー競技会	栃木県 日光市	H26.1.28~2.2	125名	205.0 (参加点20名)	2位 (前回2位)	111.0 (参加点10名)	2位 (前回2位)
スキー競技会	山形県 山形市 上市市	H26.2.21~2.24	109名	137.5 (参加点10名)	2位 (前回3位)	41.5 (参加点10名)	3位 (前回3位)
本大会	長崎県 長崎市ほか	H26.9.7~9.14 H26.10.12~10.22	448名	654.5 (参加点370名)	41位 (前回42位)	348.0 (参加点280名)	43位 (前回39位)
第69回国民体育大会			682名	997.0	20位 (前回17位)	500.5	22位 (前回16位)

(2) 総合成績

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男女総合(天皇杯)	県名	長崎	東京	愛知	大阪	埼玉	神奈川	福岡	北海道
	得点	2364	2113.5	1886.5	1807.5	1702.5	1649.5	1509.5	1484.5
	前回大会	東京	大阪	埼玉	愛知	岐阜	神奈川	千葉	福岡
女子総合(皇后杯)	県名	東京	長崎	愛知	大阪	岐阜	千葉	北海道	兵庫
	得点	1118.5	1076.5	1024	919	825	818.5	763	752.5
	前回大会	東京	大阪	岐阜	埼玉	千葉	愛知	神奈川	福岡

2 SWANメンバー育成状況

(平成27年6月10日現在)

期	高校生以上		中学3年生		中学2年生		中学1年生		小学6年生		小学5年生		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
2	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
3	2	0	3	6	1	6	0	0	0	0	0	0	18
4	0	0	1	1	2	5	2	4	0	0	0	0	15
5	0	0	0	0	2	2	1	4	5	4	0	0	18
6	0	1	0	0	0	0	0	2	1	4	3	4	15
計	2	1	7	10	5	13	3	10	6	8	3	4	72
	3		17		18		13		14		7		

3 全国中学校体育大会入賞一覧

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	計
夏 季	陸上競技		男子100m 木下 博貴 緑ヶ丘(3) 女子4×100mR 豊科北 女子駅伝 川中島						男子400m 小出 郁弥 信濃(3) 男子1500m 中谷 雄飛 下諏訪(3)	5 【4】
	水泳競技			男子50m自由形 西沢 優作 戸倉上山田(3)						1 【1】
	新体操									0 【2】
	バレーボール		女子 裾花							1 【1】
	ソフトボール			女子 篠ノ井西						1 【1】
	柔道		男子60kg級 半戸 聖人 丘(3)						男子73kg級 百瀬 敦也 丘(3)	2 【4】
冬 季	スキー (アルペン ・ノルディック ・ジャンプ)	男子大回転 北林 カ 白馬(3) 男子クラシカル 郷津 知哉 白馬(2) 男子フリー 高橋 汰門 木島平(2) 女子回転 富井 雪奈 野沢温泉(3) 女子クラシカル 山本 明里 山ノ内(3) 女子リレー 長野県チーム	男子回転 北林 カ 白馬(3) 男子フリー 郷津 知哉 白馬(2) 女子フリー 祖父江 凜 飯山城北(2)	女子クラシカル 柗津 利宝 木島平(1) 女子クラシカル 高橋 莉那 白馬(3) 男子リレー 長野県チーム	女子フクラシカル 祖父江 凜 飯山城北(2) 女子クラシカル 高橋 莉那 白馬(3)	女子クラシカル 太谷 好乃 白馬(2) 女子フリー 今溝 陽名子 白馬(1)	コンバインド 高澤 建 飯山城南(3) 女子フリー 山崎 愛深 山ノ内(1)	男子回転 猪股 優 小谷(3) 男子大回転 寺島 海 南牧(2) 男子クラシカル 高橋 汰門 木島平(2) 女子フリー 柗津 利宝 木島平(1)	女子回転 若月 夕夏 信濃(1) 女子フリー 太谷 好乃 白馬(2)	23 【32】
	スケート (スピード ・フィギア ・アイス ホッケー)	女子1500m 神長 汐音 南牧(3) 女子3000m 神長 汐音 南牧(3) 男子学校対抗 川上	男子500m 原 眞尋 川上(3) 男子1000m 原 眞尋 川上(3) 女子学校対抗 南牧	男子5000m 林 雅人 川上(3) 女子1000m 上條 夏歩 鉢盛(3) 女子1500m 賀来 真穂 長峰(3) 女子3000m 岩下 楓 小海(3)	女子500m 上條 夏歩 鉢盛(3) 女子1500m 藤森 優衣 諏訪西(3)	女子3000m 藤森 優衣 諏訪西(3)	男子1500m 高見澤 光希 南牧(3) 男子3000m 林 雅人 川上(3) 女子1000m 賀来 真穂 長峰(3) 女子3000m 小山 香月 長野東北(2)	男子500m 向山 恭平 諏訪南(3) 男子5000m 原 泰 川上(2) 女子15000m 小山 香月 長野東北(2)	男子500m 菊池 岳仁 原(2) 男子1000m 向山 恭平 諏訪南(3) 男子3000m 高見澤 光希 南牧(3) 女子500m 両角 有乃 茅野北部(1) 女子1500m 岩下 楓 小海(3) 女子学校対抗 小海	29 【26】
	計	9 【17】	11 【7】	8 【11】	4 【9】	4 【7】	7 【9】	8 【6】	11 【5】	62 【71】

【 】は平成25年度実績

4 全国高校総合体育大会入賞一覧

南関東総体 H26. 7/26～8/20 全国定通大会 H26. 8/2～22 全国駅伝競走大会 H26. 12/21 全国スケート競技大会 H27. 1/21～25 全国スキー大会 H27. 2/6～10

※()は昨年度実績

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	計	
夏 季	陸上競技男子						男子400m 浅川優人(長野) 48秒28		1 (3)	
	陸上競技女子			女子5000m競歩 溝口友巳歩 (長野東) 23分45秒80					1 (2)	
	駅伝男子		佐久長聖						1 (1)	
	柔道男子	男子73kg級 鳥羽 潤 (松本第一)		男子90kg級 鷹野 仁 (佐久長聖)					2 (0)	
	柔道女子								0 (2)	
	テニス女子								0 (1)	
	新体操女子		個人総合 猪又涼子 (伊那西) 28.900 フープ 猪又涼子 (伊那西) 14.350	女子団体 (伊那西) 15.033 ボール 猪又涼子 (伊那西) 14.550					4 (3)	
	弓道男子		男子団体 (長野日大)						1 (0)	
	弓道女子								0 (1)	
	水泳男子		50m自由形 古川慎一郎 (佐久長聖) 23秒50						1 (0)	
	水泳女子								0 (1)	
	登山								0 (1)	
	レスリング						ベスト8:男子55kg級 井出光星 (上田西) ベスト8:男子60kg級 山崎幹太郎 (小諸)		2 (0)	
	ボート女子			シングルスカル 高橋沙恵 (諏訪清陵) 4分3秒52						1 (1)
	フェンシング男子				エベ 塩原智輝 (伊那北)				フルーレ 平松海成 (箕輪進修)	2 (2)
	フェンシング女子		エベ 上田果歩 (伊那北)							1 (1)
空手道女子									0 (0)	
定通		卓球競技 男子団体 (箕輪進修)				陸上競技 男子3000mSC 小田切裕仁 (箕輪進修)			4 (2)	
冬 季	スケート男子	男子10000m 林 莉輝 (佐久長聖)	男子5000m 菊池耕太 (小海)	男子5000m 伊藤貴裕 (市立長野) 男子10000m 土屋 陸 (長野東)	男子10000m 菊池耕太 (小海) 男子学校対抗 (小海)	男子5000m 土屋 陸 (長野東) 男子2000mリレー (小海)	男子5000m 丸山幸汰 (東海大第三) 男子10000m 伊藤貴裕 (市立長野)	男子1500m 新海太智 (佐久長聖) 男子5000m 岩下 稜 (小海)	男子1000m 高見澤涼 (小海) 男子1500m 岩下 稜 (小海)	14 (12) 2 (2)
	スケート女子	女子1000m 藤森美希 (佐久長聖)	女子500m 藤森美希 (佐久長聖) 女子1000m 山田梨央 (伊那西) 女子2000mリレー (伊那西)		女子500m 山田梨央 (伊那西) 女子学校対抗 (伊那西)		女子1500m 原 和穂 (佐久長聖) 女子2000mリレー (市立長野)		女子1000m 松本芽依 (伊那西) 女子1500m 松本芽依 (伊那西) 女子3000m 原 和穂 (佐久長聖)	10 (11) 2 (2)
	スキー男子	男子Sジャンプ 栗田力樹 (白馬) 男子リレー (中野立志館)	男子10kmC 笠原陸 (中野立志館) 男子ノルディックCB 傳田英郁 (飯山) 男子学校対抗 中野立志館	男子Gスラローム 久保田拓 (中野西) 男子リレー (白馬)	男子10kmC 内田亜汰瑠 (中野立志館) 男子リレー (飯山)	男子10kmF 内田亜汰瑠 (中野立志館) 男子学校対抗 飯山・白馬		男子Sジャンプ 傳田英郁 (飯山)	男子ノルディックCB 藤本智元 (飯山)	11 (11) 3 (2)
	スキー女子	女子5kmF 小林千佳 (飯山) 女子リレー (飯山) 女子学校対抗 飯山		女子スラローム 切久保美織 (白馬)	女子5kmC 唐木永乃 (飯山) 女子5kmF 渡邊祐佳 (飯山)		女子5kmC 宮崎日香里 (中野立志館)	女子5kmC 吉越知恵美 (中野立志館) 女子リレー (中野立志館)	女子Gスラローム 野々山楓絵 (白馬)	9 (9) 1 (1)
	計	8 (10)	14 (9)	11 (7)	9 (10)	11 (8)	6 (5)	6 (9)	8 (13)	73 (71)

第70回国民体育大会における総合成績

1 大会概要

スポーツ課

	開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績				
				男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)		
				獲得点	順位	獲得点	順位	
スケート・アイスホッケー競技会	群馬県	前橋市 高崎市 渋川市	H27.1.28~2.1	130名	210.0 (参加点20名)	2位 (前回2位)	91.0 (参加点10名)	3位 (前回2位)
スキー競技会	群馬県	片品村	H27.2.20~2.23	112名	149.5 (参加点10名)	1位 (前回2位)	54.0 (参加点10名)	1位 (前回3位)
本大会	和歌山県	和歌山市ほか	H27.9.6~9.13 H27.9.22~9.26 H27.9.26~10.6	520名	791.0 (参加点370名)	33位 (前回41位)	453.0 (参加点280名)	28位 (前回43位)
第70回国民体育大会				762名	1,150.5	14位 (前回20位)	598.0	16位 (前回22位)

2 総合成績

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男女総合(天皇杯)	県名	和歌山	東京	愛知	埼玉	大阪	神奈川	千葉	福岡
	得点	2257	2052.5	1977.5	1904.5	1806.5	1626	1528.5	1519.5
	前回大会	長崎	東京	愛知	大阪	埼玉	神奈川	福岡	北海道
女子総合(皇后杯)	県名	東京	和歌山	大阪	愛知	埼玉	千葉	神奈川	兵庫
	得点	1121	999.5	963.5	942.5	803	749.5	729.5	694.5
	前回大会	東京	長崎	愛知	大阪	岐阜	千葉	北海道	兵庫

3 最近の総合成績の推移

4 競技別入賞者数(下段は少年の部で内数)

	男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	計	前回
	獲得点	順位	獲得点	順位										
70回大会	1150.5	14	598.0	16	4	10	6	3	4	2	0	9	38	37
69回大会	997.0	20	500.5	22	2	7	4	1	2	1	0	3	20	20
68回大会	1002.5	17	529.5	16	3	5	5	2	7	1	2	6	31	29
67回大会	1026.0	17	565.0	17	3	2	3	0	2	1	1	3	15	17
66回大会	983.5	17	507.5	21	9	5	7	6	16	6	6	7	62	49
65回大会	1138.5	14	584.0	16	2	3	4	3	7	5	1	3	28	19
64回大会	1147.0	18	574.0	16	16	20	18	11	27	9	8	22	131	115
合計					7	12	11	4	11	7	2	9	63	56

5 競技別順位(下段は獲得点)

	男女総合(天皇杯)				女子総合(皇后杯)		
	スケート	アイスホッケー	スキー	本大会	スケート	スキー	本大会
1位	北海道	北海道	長野	和歌山	北海道	長野	東京
	219.0	80.0	149.5	2191.0	107.0	54.0	1061.0
2位	長野	青森	新潟	東京	山梨	秋田	和歌山
	195.0	75.0	138.0	1909.5	101.0	48.0	951.5
3位	愛知	栃木	北海道	愛知	長野	新潟	大阪
	142.0	55.0	132.0	1798.5	91.0	45.0	897.5
4位	山梨	宮城	秋田	埼玉	愛知	北海道	愛知
	117.0	50.0	130.0	1764.5	84.0	43.0	841.5
5位	大阪	埼玉・東京	岩手	大阪	神奈川	青森	埼玉
	101.0	45.0	62.5	1661.5	55.0	25.0	754.0
6位	神奈川	—	岐阜	神奈川	群馬	山形	千葉
	100.0	—	58.0	1506.0	54.0	23.0	729.5
7位	福岡	香川	山形	千葉	大阪	埼玉	神奈川
	99.0	35.0	49.0	1458.5	51.0	21.0	664.5
8位	群馬	大阪	群馬	福岡	福岡	群馬	愛媛
	95.0	25.0	47.5	1388.5	47.0	18.0	645.0
本県の 前回大会	2位	9位	2位	41位	2位	3位	43位
	185.0	20.0	137.5	654.5	111.0	41.5	348.0

6 季別内訳

季別	男女総合（天皇杯）			女子総合（皇后杯）		
	競技名	得点	前回大会	競技名	得点	前回大会
冬季大会	スケート	185.0	175.0	スケート	81.0	101.0
	アイスホッケー	5.0	10.0			
	スキー	139.5	127.5	スキー	44.0	31.5
	参加得点	30.0	30.0	参加得点	20.0	20.0
	競技得点	329.5	312.5	競技得点	125.0	132.5
	小計	359.5	342.5	小計	145.0	152.5
	冬季大会終了時順位	2	2	冬季大会終了時順位	2	2
本大会	陸上競技	52.0	24.0	陸上競技	21.0	7.0
	水泳	37.0	34.0	水泳	22.0	9.0
	サッカー	40.0		サッカー	40.0	
	テニス			テニス		
	ボート	11.0		ボート	4.0	
	ホッケー			ホッケー		
	ボクシング					
	バレーボール	42.5	17.5	バレーボール		
	体操	30.0		体操	30.0	
	バスケットボール	12.5	12.5	バスケットボール	12.5	
	レスリング	15.5	15.0			
	セーリング			セーリング		
	ウェイトリフティング	21.0	2.0			
	ハンドボール			ハンドボール		
	自転車					
	ソフトテニス			ソフトテニス		
	卓球	7.5		卓球		
	軟式野球					
	相撲					
	馬術	58.5	37.0	馬術	23.0	8.0
	フェンシング	15.0	6.0	フェンシング		
	柔道			柔道		
	ソフトボール			ソフトボール		
	バドミントン			バドミントン		
	弓道	48.0		弓道	3.0	
	ライフル射撃	15.0	11.0	ライフル射撃	15.0	11.0
	剣道			剣道		
	ラグビーフットボール					
	山岳		48.0	山岳		
	カヌー	13.0	31.0	カヌー		16.0
	アーチェリー		9.0	アーチェリー		9.0
	空手道	2.5	10.5	空手道	2.5	8.0
	銃剣道					
クレ-射撃		6.0				
なぎなた			なぎなた			
ボウリング		21.0	ボウリング			
ゴルフ			ゴルフ			
参加得点	370.0	370.0	参加得点	280.0	280.0	
競技得点	421.0	284.5	競技得点	173.0	68.0	
小計	791.0	654.5	小計	453.0	348.0	
順位	33	41	順位	28	43	
総合	参加点	400.0	400.0	参加点	300.0	300.0
	競技得点	750.5	597.0	競技得点	298.0	200.5
	合計得点	1,150.5	997.0	合計得点	598.0	500.5
	順位	14	20	順位	16	22

※競技別の得点には、参加点を含まない。

7 男女総合(天皇杯)・女子総合(皇后杯)成績

男女総合(天皇杯)				女子総合(皇后杯)			
順位	県名	得点	前回順位	順位	県名	得点	前回順位
1	和歌山	2257.0	15	1	東京	1,121.0	1
2	東京	2052.5	2	2	和歌山	999.5	19
3	愛知	1977.5	3	3	大阪	963.5	4
4	埼玉	1904.5	5	4	愛知	942.5	3
5	大阪	1806.5	4	5	埼玉	803.0	10
6	神奈川	1626.0	6	6	千葉	749.5	6
7	千葉	1528.5	10	7	神奈川	729.5	9
8	福岡	1519.5	7	8	兵庫	694.5	8
9	北海道	1393.0	8	9	北海道	670.5	7
10	京都	1293.5	12	10	愛媛	665.0	12
11	岡山	1222.5	13	11	岐阜	658.0	5
12	兵庫	1215.5	11	12	福岡	625.0	11
13	愛媛	1203.5	21	13	広島	624.5	14
14	長野	1150.5	20	14	静岡	610.5	21
15	岐阜	1130.5	9	15	岡山	608.5	17
16	岩手	1099.0	37	16	岩手	598.0	33
17	長崎	1070.5	1	16	長野	598.0	22
18	熊本	1038.5	24	18	京都	597.0	18
19	栃木	1029.0	23	19	群馬	569.0	13
20	静岡	1015.5	26	20	長崎	547.5	2
21	広島	1000.5	18	21	熊本	542.0	15
22	群馬	997.5	14	22	宮城	537.0	23
23	宮城	956.5	25	23	三重	502.0	38
24	滋賀	940.0	35	24	福井	500.5	34
25	大分	930.5	28	25	茨城	488.5	37
26	福井	920.5	17	26	滋賀	486.0	34
27	三重	918.0	32	27	山口	470.5	27
28	山口	904.5	22	28	大分	468.5	36
29	石川	887.0	16	29	山梨	459.5	16
30	香川	879.0	41	30	鳥取	459.0	31
31	福島	866.0	34	31	栃木	454.5	20
32	茨城	839.0	31	32	佐賀	440.0	25
33	奈良	834.5	35	33	鹿児島	437.0	26
34	山梨	818.5	29	34	香川	433.5	42
35	富山	807.0	33	35	福島	430.5	29
36	山形	801.5	30	36	石川	430.0	30
37	鹿児島	799.5	27	37	富山	425.0	28
38	秋田	774.5	42	38	秋田	414.0	40
39	新潟	767.0	40	39	山形	410.5	32
40	青森	722.5	43	40	新潟	405.5	39
40	鳥取	722.5	38	41	徳島	367.5	46
42	宮崎	707.5	19	42	沖縄	356.0	45
43	佐賀	687.5	39	43	青森	354.5	43
44	島根	648.5	45	44	島根	347.0	44
45	沖縄	633.0	44	45	高知	340.0	47
46	徳島	605.5	46	46	奈良	337.0	24
47	高知	576.5	47	47	宮崎	334.5	41

平成 27 年度全国中学校体育大会及び全国高等学校

総合体育大会等における成績について

1 全国中学校体育大会

(1) 大会の概要

- 開催地 北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 大会期間 H27. 8. 17～8. 25（9日間）
- 県選手団 212人（選手148人、役員64人）

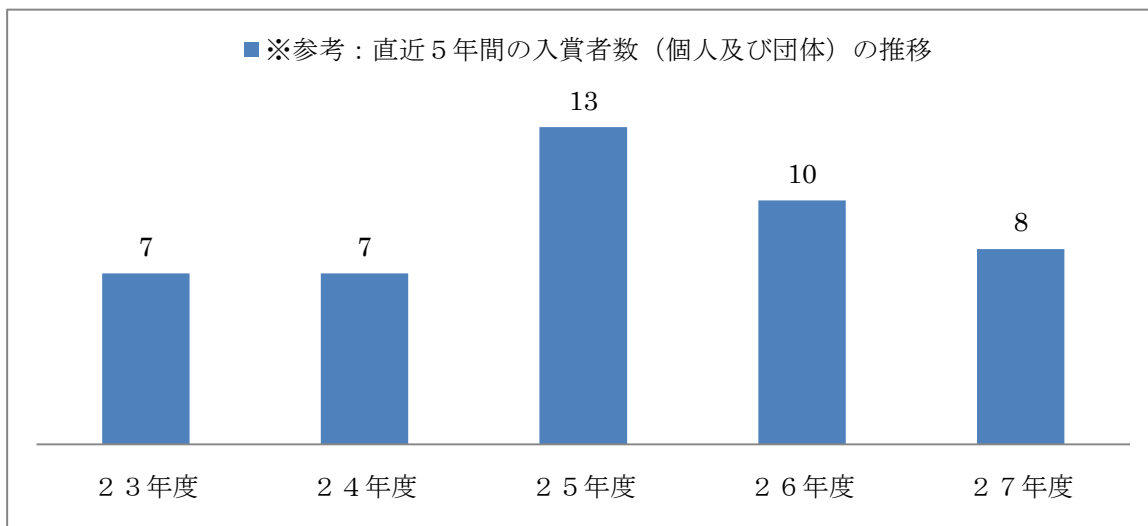
(2) 大会入賞者

ア 個人の部（6名）

No.	競技	種目	成績	氏名	学校	学年	記録	備考
1	水泳	女子100M自由形	4位	竹内 愛貴	鎌田	3	57"92	県中新記録
2	体操	女子個人	総合8位	松村 朱里	大町第一	3	53.400点	
3	柔道	男子55kg級	優勝	唯野 己哲	東御東部	2		
4	柔道	男子73kg級	ベスト8	大江 達也	上田第一	3		
5	柔道	女子40kg級	2位	上倉 舞知	野沢温泉	2		
6	柔道	女子44kg級	ベスト8	野村 真希	丘	3		

イ 団体の部（2団体）

No.	競技	種目	成績	学校	備考
1	体操	女子団体	総合3位	大町市立大町第一中学校	115.900点
2	バレーボール	女子	優勝	長野市立裾花中学校	昨年度は2位



2 全国高等学校総合体育大会

ア 大会の概要

- 開催地 和歌山県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県
- 大会期間 H27. 7. 28～8. 20 (24日間)
- 県選手団 702人 (選手 506人、監督・コーチ・役員 196人)

イ 大会入賞者

(ア) 個人の部 (12名・19種目)

No.	競技	種目	成績	氏名	学年	学校	記録	備考
1	陸上競技	男子 200m	4位	樋口 一馬	2	松商学園	21秒41	
2		男子 5000m競歩	8位	石井 克弥	3	長野日大	21分56秒37	
3		女子 5000m競歩	優勝	溝口 友己歩	3	長野東	23分13秒98	県勢初優勝
4	柔道	女子 52kg級	5位	伊藤 ななせ	3	松商学園		
5	テニス	男子 シングルス	ベスト8	杉森 優輝	3	松商学園		
6	新体操	個人総合	優勝	猪又 涼子	3	伊那西	30.750	県勢初優勝
7		ボール	優勝	猪又 涼子	3	伊那西	15.150	
8		クラブ	優勝	猪又 涼子	3	伊那西	15.600	
9	水泳	男子 100m平泳ぎ	7位	塩入 龍斗	2	松商学園	1分3秒27	
10	レスリング	男子 96kg級	優勝	白鳥 慶樹	3	小諸		
11	ウエイトリフティング	男子 85kg級T	2位	小松 幸佑	3	松商学園	261kg	T (トータル) C&J (クリーン&ジャーク) S (スナッチ)
12		85kg級C&J	優勝	小松 幸佑	3	松商学園	148kg	
13		85kg級S	2位	小松 幸佑	3	松商学園	113kg	
14		56kg級T	6位	河尻 隆之介	3	松商学園	196kg	
15		56kg級C&J	5位	河尻 隆之介	3	松商学園	110kg	
16		56kg級S	7位	河尻 隆之介	3	松商学園	86kg	
17		94kg級T	7位	河西 勇介	3	松商学園	245kg	
18		94kg級C&J	6位	河西 勇介	3	松商学園	138kg	
19	空手道	女子 個人形	ベスト4	石原 優	3	松本第一		

(イ) 団体の部 (4団体)

No.	競技	種目	成績	学校	記録	備考
1	テニス	男子 団体	ベスト8	松商学園		
2	バレーボール	女子	ベスト8	東京都市大塩尻		
3	新体操	女子 団体	優勝	伊那西	15.416点	県勢初優勝
4	ウエイトリフティング	男子 学校対抗	5位	松商学園	37点	

3 全国高等学校定時制通信制体育大会

ア 大会の概要

- 開催地 東京都・神奈川県・静岡県
- 大会期間 H27. 8. 1～8. 20 (20日間)
- 県選手団 107人 (選手 81人、監督・コーチ 26人)

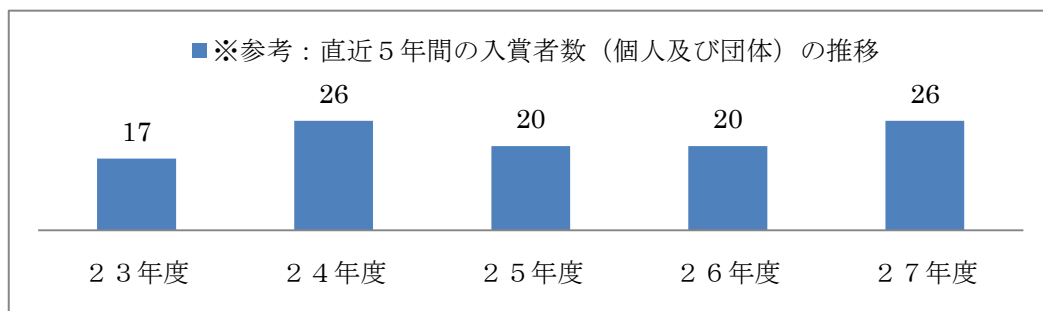
イ 大会入賞者

(ア) 個人の部 (1名)

No.	競技	種目	成績	氏名	学年	学校	記録
1	陸上	男子 400mH	6位	北原 恵哉	1	箕輪進修	1分02秒25

(イ) 団体の部 (2団体)

No.	競技	種目	成績	学校
1	卓球	女子 団体	3位	さくら国際
2	バドミントン	男子 団体	ベスト8	長野県選抜



基本目標評価調書【案】

基本目標	5 スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進
------	---

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	選手が県内を拠点に活躍するとともに、引退後も指導に携わるなどの好循環が創出されています
施策の展開	1 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進 2 地域スポーツと企業・大学との連携

■ 評価

1 施策の達成状況

取組の主な成果の状況(26年度実績)

<p>○有望な選手が在籍する県内の企業・学校に訪問し、選手の競技活動のための環境整備について要請した。</p> <p>○「長野県広域スポーツセンター指導者派遣事業」において、総合型スポーツクラブの活動の充実と活性化を図るため、元オリンピック等トップアスリートを県内の総合型クラブへ派遣した(のべ3名)。 ※2名(敬称略):野口京子(バレーボール)2クラブ、大屋秀作(バスケットボール・ユニバ日本代表)</p> <p>○スポーツ界における好循環創出の方策を検討するために、トップスポーツ選手を受け入れている企業・団体の実態、現役引退後の選手を受け入れている企業・団体の実態等について情報収集を行い、長野県としての支援策について検討した。</p> <p>○(一社)長野県経営者協会へ「アスリートの就職支援」について、現状説明と協力依頼をした。</p> <p>○JOC「アスナビ」説明会の平成27年度長野県開催を計画した。</p>
【進捗度】 努力を要する

2 課題と今後の取組方針

<p>【課題】</p> <p>○国体で活躍できるレベルの本県出身選手が、大学卒業後も競技生活を続ける場合その多くは県外へ就職している。</p> <p>○県内での就職を希望するアスリートが存在することや採用に関する認識が県内企業に不足している。</p> <p>○トップアスリートを活用したスポーツによる地域活性化を図る必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】</p> <p>○JOC「アスナビ」説明会(就職支援制度双方向型マッチングシステム)について、その仕組みを理解し、長野県版の構築について検討する。</p> <p>○県内企業にアスリートの現状(競技継続のために他県へ就職、もしくは競技を断念)の理解を深めるため、また、長野県版「アスナビ」のイメージを関係者へ周知するため、JOC「アスナビ」説明会を長野県内にて開催する。</p> <p>○県内企業に就職し、競技を継続している選手について、その雇用形態と練習環境等の情報収集を行う。</p> <p>○選手の立場から、雇用形態(一社雇用、複数社との競技活動資金支援契約、派遣社員契約等)や勤務条件(年次休暇等)についての研究を行う。</p>
--

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

1 企業・学校訪問

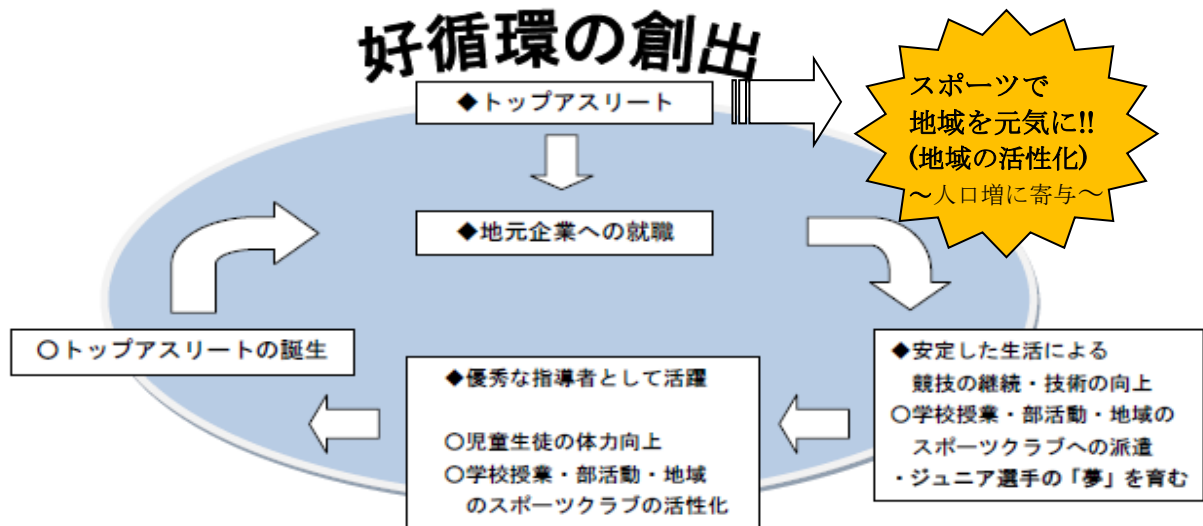
- 1 目的 スポーツ振興と競技力向上のため、国民体育大会等に出場予定の選手及び監督等の所属する企業・学校等を訪問し、活動支援を依頼するとともに、強化の現状や環境などについて把握し、必要に応じて助言を行う。
- 2 実施日 平成26年5月16日～5月30日
- 3 訪問数 合計75ヶ所（企業6 学校52 クラブ14 官庁3）

2 長野県版「アスナビ」構想案

1 目的

県民がスポーツに魅力を感じ、スポーツを身近なものと捉えるためには、県内を拠点に活躍するトップアスリートの存在とその積極的な活用が効果的である。

そこで、地域の応援を受け活躍したトップアスリートが、引退後も引き続き指導者として地域に残り、技術や経験を地域に還元する「スポーツ界における好循環」の創出を推進することで、人口増に寄与するとともに、スポーツによる元気なまちづくり(地域の活性化)へ繋げていく。



2 事業内容

- 1) 好循環創出に向けた「地域検討会議」を設置
 トップレベルの選手が県内にとどまり、競技生活を継続できるしくみづくりの検討
 <委員の構成(案)> JOC、企業人事担当者、人材派遣会社、県内大学関係者、競技団体等
- 2) 長野県版「アスナビ」(アスリートの就職支援ナビゲーション)の構築
 - ①HP上にて「エントリーシート」の公開
 長野県内に就職を希望しているアスリートの自己PR、支援先企業への情報(就職希望条件)等
 - ②企業向け事前説明会の実施
 アスリートが競技を安心して続けられる環境の重要性、企業のサポートを望むアスリートの実情、企業がアスリートを雇用した際のメリット等について説明し、以下③の「アスナビ」説明会への県内企業の参加を促す。
 - ③長野県版「アスナビ」(アスリートの就職支援ナビゲーション)説明会の開催
 好循環の創出に向けて、本県からオリンピック等への出場を目指すトップアスリートとアスリート支援に関心を示す県内企業とのマッチングの場を提供する。

基本目標評価調書【案】

基本目標	6 多面にわたるスポーツの果たす役割の活用
------	-----------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	スポーツの有する多面的な価値が県民の間で共有され、健康づくりや県内外の交流促進など、スポーツが「元気な信州づくり」を牽引しています
施策の展開	1 スポーツによる地域の一体感や活力の醸成 2 県内のスポーツ資源を活用した交流の促進と地域の活性化 3 スポーツを通じた健康で活力に満ちた健康長寿社会の実現

■ 評価

1 施策の達成状況

取組の主な成果の状況(26年度実績)

<p>○県ホームページを活用し、本県関係選手の活躍の様子を更新し、スポーツに関する多彩な情報を発信した。</p> <p>○県とプロスポーツチームとの連携事業を「包括連携協定」に基づき、人権啓発や献血啓発など16のテーマ(分野)で幅広く展開した。</p> <p>○スキープロモーションにおいて、県内全小学生にスキーリフト優待券付きパンフレットを配布するとともに、「信州“Family Style”」を各種媒体を通じてPRするなどの活動を行った。(観光部)</p> <p>○市町村における運動支援ボランティアの養成が促進されるよう、「運動支援ボランティア養成講座テキスト」を作成するとともに、効果的な運動手法やボランティア養成に関する研修会を開催した。また、6月にスタートした健康づくり県民運動「信州ACE(エース)プロジェクト」の一環で、市町村や企業の健康づくりの取組等に関する情報を収集、専用サイトを開設し情報発信するなど普及、啓発に努めた。(健康福祉部)</p>
【進捗度】 努力を要する

2 課題と今後の取組方針

<p>【課題】</p> <p>○「VC長野トライデント」(Vリーグ参入)のような包括連携協定を結んだ団体以外の新規団体への支援についても検討が必要である。</p>
<p>【今後の取組方針】</p> <p>○全国的スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興など、スポーツで地域が元気になるような取組を進めるとともに、県民に元気と活力を与えてくれる本県関係選手の活躍の様子等については、引き続き積極的な情報発信を行っていく。また、銀座NAGANOの活用について検討していく。</p> <p>○県内でのスポーツ合宿に対して、スポーツ合宿誘致推進員による誘致営業活動を行っていく。(観光部)</p> <p>○子どもたちとその家族に向けたプロモーションを通じて、「信州“Family Style”」を進め、家族でのスキー場への来場を促進していく。(観光部)</p> <p>○「信州ACE(エース)プロジェクト」を推進する中で、「長野県版身体活動ガイドライン(ずくだすガイド)」や「運動支援ボランティア養成講座テキスト」の普及や活用を図るとともに、市町村におけるウォーキングや体操の普及、企業における従業員の体を動かす取組の促進などを支援し、県民の運動習慣の一層の定着を図る。(健康福祉部)</p>

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

県内プロスポーツチームとの包括連携協定に基づく連携事業の実績

平成24年7月から平成27年9月までに実施した連携事業

課(室)名	実施年度	概要
情報政策課統計室	H27	○平成27年国勢調査に係る広報 ・主催試合で広報を実施 松本山雅FC(マッチデープログラム配布袋へ、リーフレット封入(10,000部)、場内アナウンス)信濃グランセローズ(選手による呼びかけ及び啓発用品配布、場内アナウンス、信濃毎日新聞及びマッチデープログラムへのPR掲載、抽選会における賞品の配布)
交通政策課	H24 H25	○「プロスポーツ応援キャンペーン」の実施 ・県内プロスポーツチームに係る公式戦への出場又は観戦のために信州まつもと空港の発着便を利用した場合に、抽選で長野県産品をプレゼント
市町村課 (選挙管理委員会)	H25 H26	○選挙啓発活動への協力 ・ホームゲームでの来場者に対する啓発物品の配布、呼びかけ 参議院議員選挙(H25.7)・・・AC長野パルセイロ、松本山雅FC 県知事選挙(H26.8)・・・AC長野パルセイロ、信濃グランセローズ
人権・男女共同参画課	H25 H26 H27	○スポーツ組織と連携した人権啓発事業 ・人権大使の委嘱(各チーム1名)及び人権大使による啓発ポスター作成 ・ホームゲームでの人権啓発 ・人権スポーツ教室
次世代サポート課	H27	○あいさつサポーターとしてあいさつ活動 ・中野市内の小学校3校において監督・選手全員が参加してあいさつ活動の実施
こども・家庭課	H24 H26	○児童虐待防止への協力 ・ホームゲームにおける児童虐待防止キャンペーンの実施(選手によるチラシ配布、オーロラビジョン、会場アナウンス、新聞広告) 松本山雅FC、AC長野パルセイロ ・「児童虐待防止推進月間」にあわせたホームゲームでの啓発活動 松本山雅FC、信州ブレイブウォリアーズ、AC長野パルセイロ
障がい者支援課	H24 H25 H26	○障がい者のスポーツ振興 ・信州ブレイブウォリアーズのホーム公式戦前のイベントで、知的障がい者のバスケットボールの試合を実施 ・信濃グランセローズによる養護学校での訪問野球教室の実施 ・信濃グランセローズによる障がい児野球教室 ・信濃グランセローズ ホームゲーム観戦チケット提供 ・AC長野パルセイロ ホームゲーム観戦チケット提供
薬事管理課	H25 H26 H27	○サポーター献血啓発事業 ・松本山雅FC及びAC長野パルセイロのホームゲームで、サポーター等に対し献血啓発を実施
観光誘客課	H24 H25 H26	○観光・物産PR ・ホーム及びアウェイゲームにおいてPRキャラクター「アルクマ」を活用した県の観光物産PR
	H24 H25 H26	○キャンペーン等のプレゼント商品にスポーツチームグッズを利用 ・県内プロスポーツチームグッズをスタンプラリー等のプレゼント商品に利用
農産物マーケティング室	H24 H25	○「おいしい信州ふーど(風土)」のPR ・ホームゲーム及びアウェイゲームを活用した「おいしい信州ふーど(風土)」のPR(松本山雅FC、AC長野パルセイロ、信州ブレイブウォリアーズ)
特別支援教育課	H24 H25 H26	○障がい者スポーツの振興【再掲】 ・信濃グランセローズによる養護学校での訪問野球教室の実施
スポーツ課	H24	○「信州スポーツサミット2012」の開催 ・プロ4チームの代表者と知事等が一堂に会し、プロスポーツで長野県を元気にする方策について議論(H24.8.5)
	H24 H25 H26	○スポーツイベントでの交流事業 ・スポーツ天国において、全4チームが行うスポーツ教室の実施 ・信州チャレンジスポーツDAYでの全4チームが行うスポーツ教室の実施
	H26	○「あいこちゃんを救う会」が実施する募金活動への協力呼びかけ ・全4チームで実施
	H27	○銀座NAGANOを活用したスポーツ情報発信事業 ・松本山雅後援会東京支部発足式開催の支援 ・松本山雅FC応援DAYの開催(試合放映、オフィシャルグッズ・スタ飯の販売等) ・FC東京戦前夜祭の開催(トークショー、オフィシャルグッズ販売) ・試合放映
県警 少年課	H24 H26	○少年の立ち直り支援 ・AC長野パルセイロの選手と一緒に陶芸体験 ・AC長野パルセイロによるミニサッカー教室の実施 ・信濃グランセローズホーム試合時の裏方体験